

第2章 総社市の少子化の現状

第2章 総社市の少子化の現状

1 人口の推移

(1) 総人口と年齢3区分人口

総社市の人口は昭和 60 年の 51,240 人から増加を続けており、平成 12 年では 56,531 人となっています。

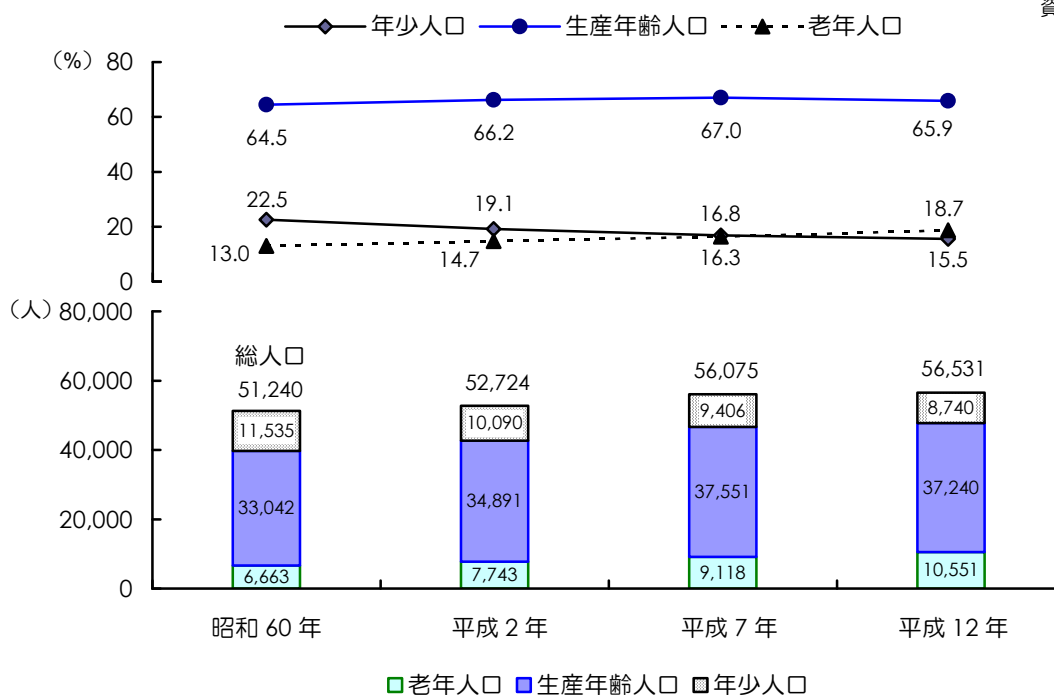
年齢 3 区分人口の推移をみると、昭和 60 年から平成 12 年で、年少人口割合が 22.5%から 15.5%へと 7.0 ポイント減少、生産年齢人口割合は平成 7 年まで増加していましたが、平成 12 年には減少に転じています。老年人口割合は増加を続けており、昭和 60 年から平成 12 年で 13.0%から 18.7%へと 5.7 ポイント増加しています。平成 12 年には老年人口割合が年少人口割合を逆転し、少子高齢化が進んでいます。

[表] 総人口と年齢 3 区分人口の推移

単位：人、%

区分	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
総人口	51,240	52,724	56,075	56,531
年少人口 (0~14 歳)	11,535	10,090	9,406	8,740
比率	22.5	19.1	16.8	15.5
生産年齢人口 (15~64 歳)	33,042	34,891	37,551	37,240
比率	64.5	66.2	67.0	65.9
老年人口 (65 歳以上)	6,663	7,743	9,118	10,551
比率	13.0	14.7	16.3	18.7

資料：国勢調査



(2)児童人口

総社市の児童人口は、減少を続けています。児童人口割合は平成12年には20%を割り込み、昭和60年から6.9ポイント減少しています。

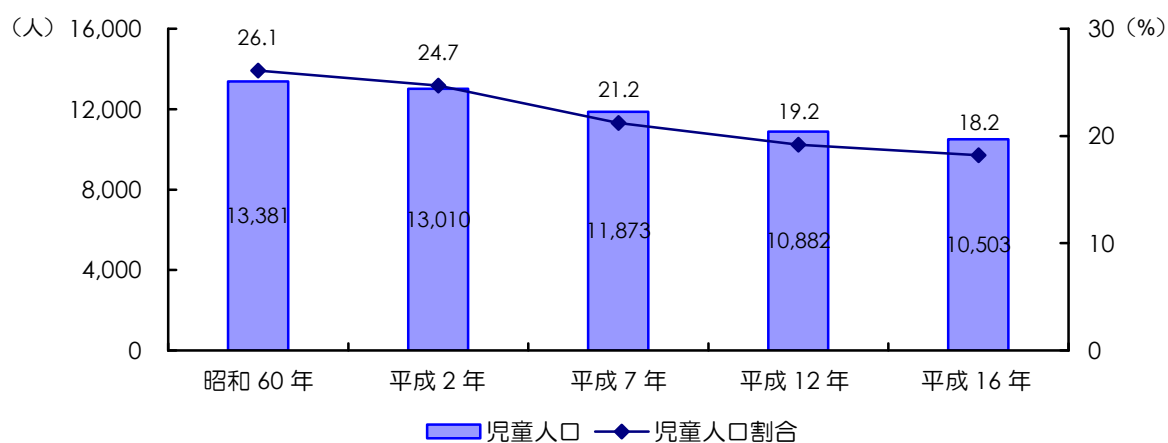
しかし、核家族化の進行や女性の社会進出の増加などにより要保育児童数の比率は高まるものと予測されます。

[表]児童人口の推移

単位：人、%

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成16年
総人口	51,240	52,724	56,075	56,531	57,657
児童人口(0歳~17歳)	13,381	13,010	11,873	10,882	10,503
比率	26.1	24.7	21.2	19.2	18.2

資料：国勢調査（平成16年は住民基本台帳）



2 世帯数の推移

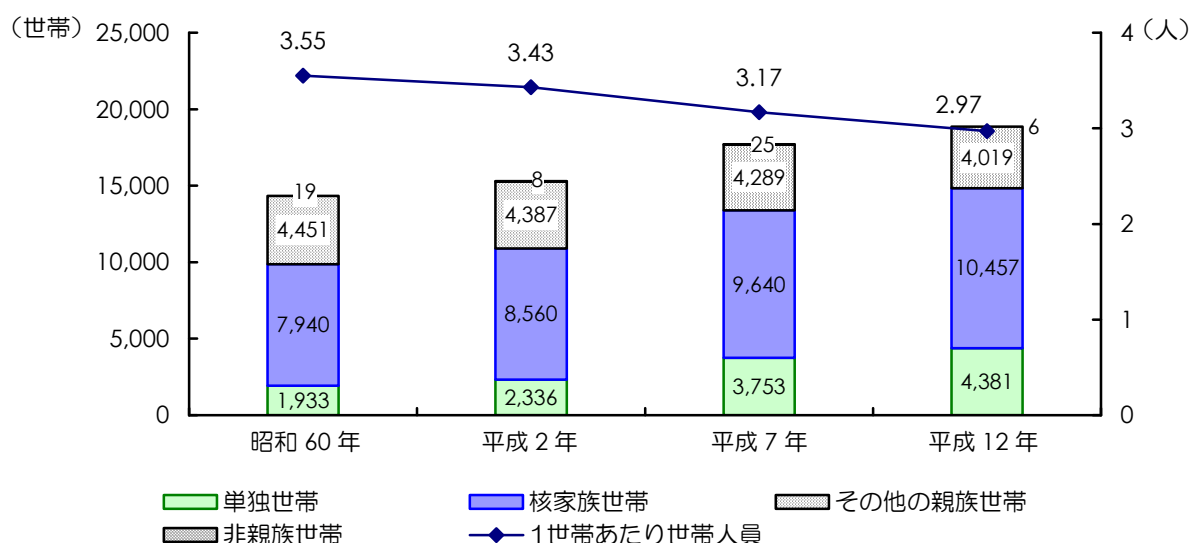
単独世帯と核家族世帯の増加に伴い、一般世帯数は昭和60年の14,343世帯から平成12年は18,863世帯と増加を続けています。しかし、平均世帯人員は昭和60年から平成12年では0.58人減少しています。

[表] 世帯数の推移

単位：上段 世帯，下段 %

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	
一般世帯数	14,343	15,291	17,707	18,863	
単独世帯	1,933	2,336	3,753	4,381	
	13.5	15.3	21.2	23.2	
核家族世帯	7,940	8,560	9,640	10,457	
	55.4	56.0	54.4	55.4	
	夫婦のみ世帯	2,004	2,350	2,847	3,381
	25.2	27.5	29.5	32.3	
夫婦と子からなる世帯	5,222	5,378	5,796	5,890	
	65.8	62.8	60.1	56.3	
ひとり親と子からなる世帯	714	832	997	1,186	
	9.0	9.7	10.3	11.3	
その他の親族世帯	4,451	4,387	4,289	4,019	
	31.0	28.7	24.2	21.3	
非親族世帯	19	8	25	6	
	0.13	0.05	0.14	0.03	
1世帯あたりの世帯人員(人)	3.55	3.43	3.17	2.97	

資料：国勢調査



3 出生の動向

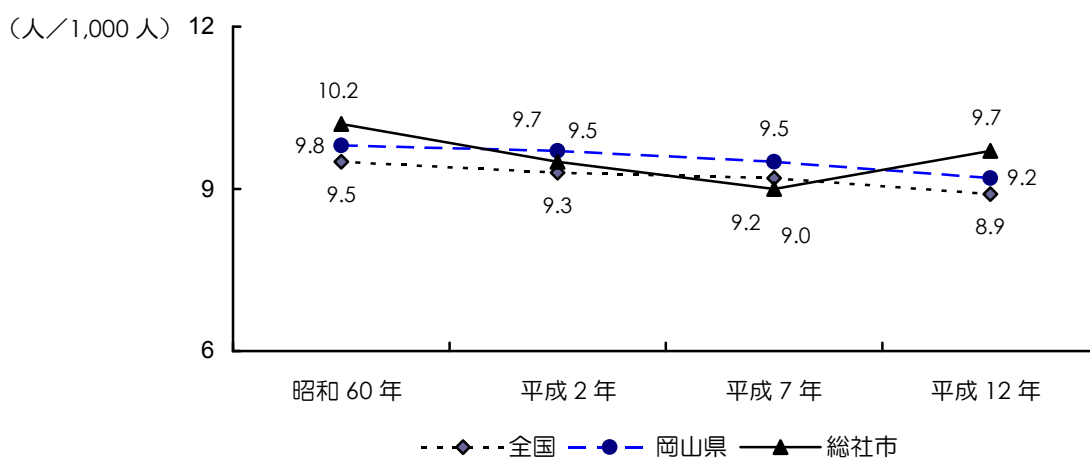
出生率は、総社市では平成14年まで減少が続き、平成15年に増加に転じていますが、岡山県、全国を見ると減少を続けています。

[表] 出生数と出生率の推移

単位：人、人／1,000人

区 分		平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
出生数		578	537	512	548
総人口		56,531	56,612	56,610	56,670
出生率	総社市	10.2	9.5	9.0	9.7
	岡山県	9.8	9.7	9.5	9.2
	全 国	9.5	9.3	9.2	8.9

資料：人口動態統計



4 婚姻等の状況

(1) 婚姻・離婚

婚姻件数は増減を繰り返しており、平成15年で293件、婚姻率は5件/1,000人台前半で推移しています。

岡山県の婚姻率の推移と比較すると、岡山県では減少傾向が続いているのに対し、総社市では増減を繰り返しています。

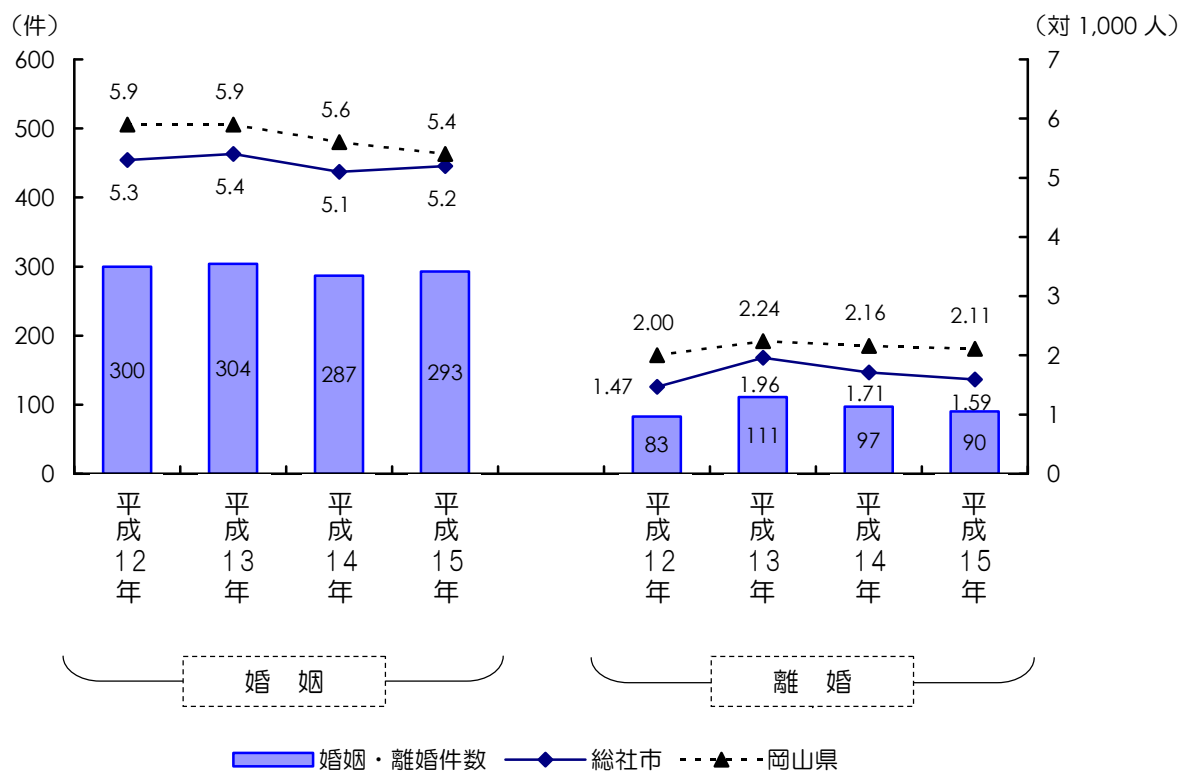
離婚件数は、平成13年から減少傾向で平成15年で90件となっています。離婚率も平成13年から減少に転じており、平成15年の離婚率は1.59件/1,000人となっています。

[表] 婚姻・離婚件数と婚姻率・離婚率の推移

単位：件、件/1,000人

区分		平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	
婚姻	総社市	婚姻件数	300	304	287	293
		婚姻率	5.3	5.4	5.1	5.2
	岡山県	婚姻率	5.9	5.9	5.6	5.4
離婚	総社市	離婚件数	83	111	97	90
		離婚率	1.47	1.96	1.71	1.59
	岡山県	離婚率	2.00	2.24	2.16	2.11

資料：人口動態統計



(2)未婚

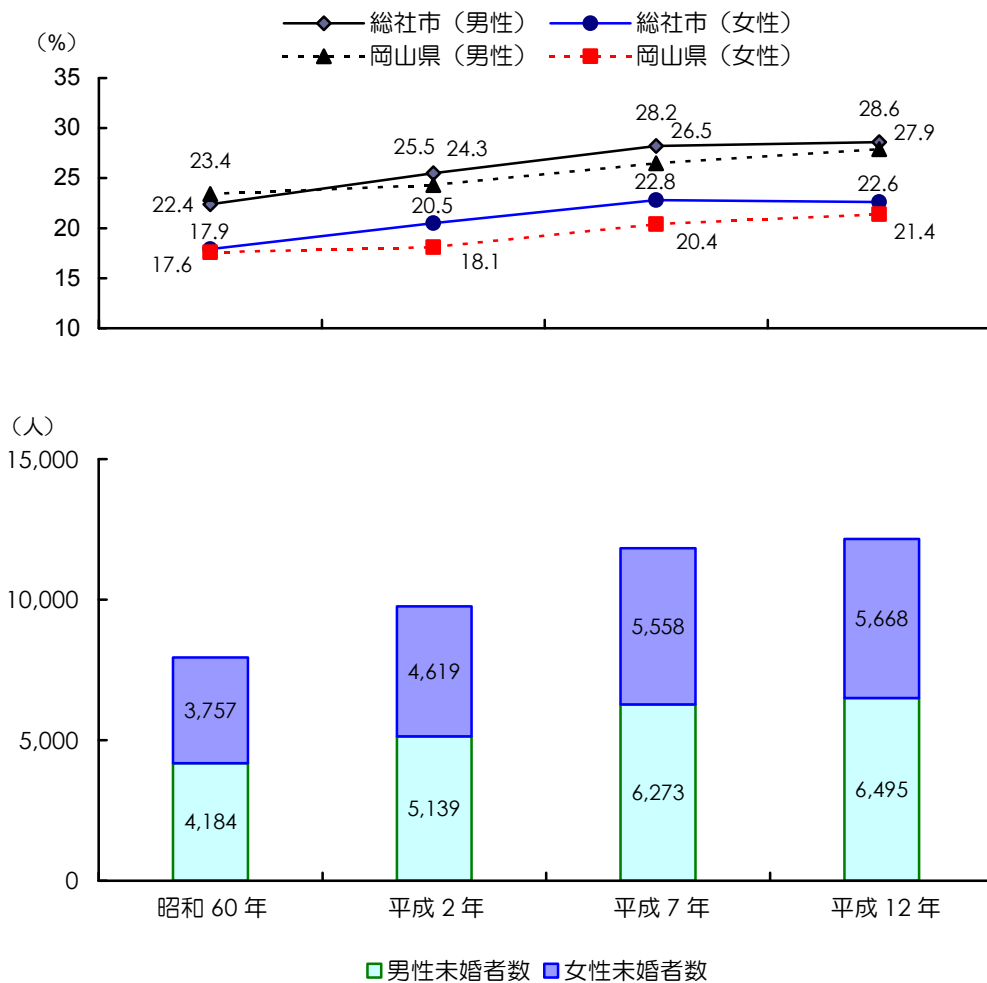
未婚者は、男女とも増加が続いています。未婚率は、男性は一貫して上昇を続けており、女性は平成7年以降横ばい傾向となっています。また、岡山県の未婚率は、男性、女性とも上昇を続けています。

[表]未婚者数と未婚率の推移

単位：人，%

区 分			昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
総社市	男性	未婚者数	4,184	5,139	6,273	6,495
		未婚率	22.4	25.5	28.2	28.6
	女性	未婚者数	3,757	4,619	5,558	5,668
		未婚率	17.9	20.5	22.8	22.6
岡山県	男性	未婚率	23.4	24.3	26.5	27.9
	女性	未婚率	17.6	18.1	20.4	21.4

資料：人口動態統計



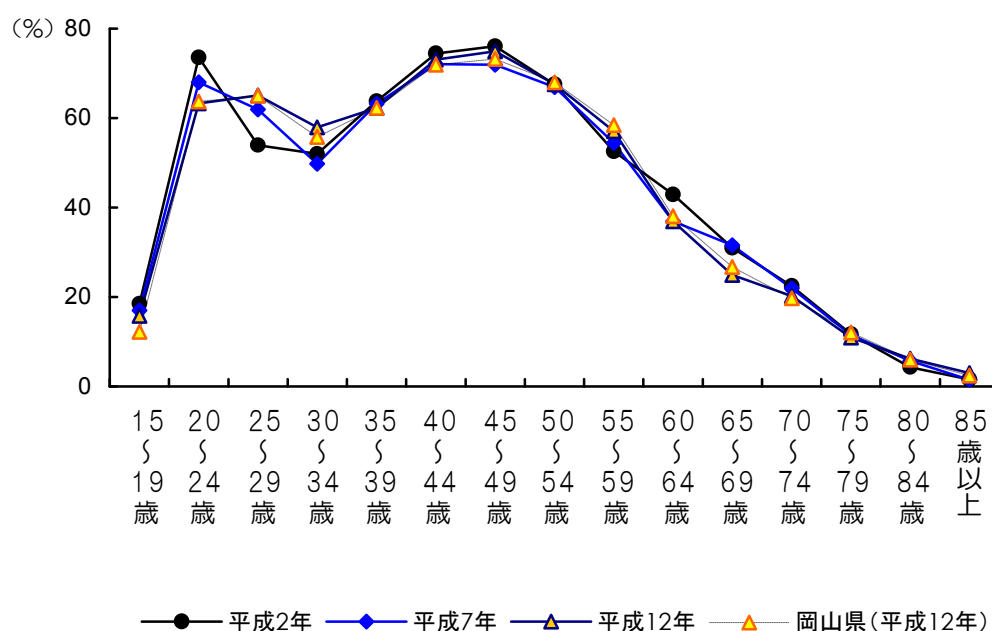
5 女性の就業状況

女性の年齢別就業状況は、20歳台と40歳台でピークを迎えるM字型曲線を示しています。いったん就業率の落ち込む年齢が、平成2年では25～34歳ですが、平成7年以降は、30～34歳と落ち込む年代が狭まるとともに、M字の緩やかな曲線となっています。また、平成12年を岡山県と比較すると、曲線はおおむね同じ傾向となっています。

[表]女性の年齢別就業率

単位：％

年齢区分	平成2年	平成7年	平成12年	岡山県 (平成12年)
15～19歳	18.5	17.0	15.8	12.2
20～24歳	73.6	68.0	63.3	63.7
25～29歳	53.9	61.9	65.1	65.0
30～34歳	52.0	49.8	57.9	55.8
35～39歳	63.8	63.2	62.3	62.3
40～44歳	74.4	72.1	73.1	71.9
45～49歳	76.1	71.9	74.9	73.2
50～54歳	67.5	66.9	67.6	68.0
55～59歳	52.6	54.4	57.1	58.4
60～64歳	42.9	36.9	36.9	38.1
65～69歳	31.0	31.6	24.9	26.7
70～74歳	22.4	21.9	20.2	19.7
75～79歳	11.7	11.5	10.9	12.1
80～84歳	4.3	5.7	6.2	6.0
85歳以上	1.6	1.5	3.0	2.4



6 推計人口

国勢調査をもとに^{用語説明7}コーホート変化率法により人口推計を行うと、11歳以下の人口は微増傾向で、平成12年度の6,731人から平成21年度には6,828人へと増加すると推計されます。

人口が微増する理由としては、総社市が岡山市、倉敷市に近いという地理的な要因が考えられますが、全体としては少子化が進んでいくと考えられます。

[表] 推計人口

単位：人

区分	実績	推計				
	平成12年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
0歳	560	536	534	529	527	521
1歳	513	550	564	562	557	555
2歳	556	572	558	572	570	565
3歳	560	593	589	575	589	587
4歳	537	561	590	586	572	586
5歳	533	541	566	595	591	577
6歳	540	595	544	569	598	594
7歳	544	533	596	545	570	599
8歳	569	554	529	591	541	566
9歳	578	551	558	533	595	545
10歳	623	579	553	560	535	597
11歳	618	535	580	554	561	536
合計	6,731	6,700	6,761	6,771	6,806	6,828

